



人間の行動原理と原則にもとづいた

smart creative management

【世界初】需要創造の芸術と科学

NEWS RELEASE

2021年6月29日

スマートクリエイティブマネジメント総合研究所

ABAオペレーションズ研究センター

リクエスト株式会社

受講者の自律性と創造性が高まる

『社内講師育成プログラム』 無償提供

～応用行動分析学と芸術に基づいた学習サポート～

「『講師は受講者の学習をサポートする』ことが役割。『教える』ことが役割ではない」。弊社の研究機関、ABAオペレーションズ研究センターとスマートクリエイティブマネジメント総合研究所はこのように考えて実験検証を続けています。しかし「講師は受講者の学習をサポートする」この役割を担っている講師は10人中1人程度と少ない。各講師は手探りで一生懸命やっているが、受講者が実生活で行動と思考を自発的に変えていく科学的なサポートのやり方が不足しています。講義後に受講者から「いい話を聴きました。ありがとうございます」と言われても、受講者は実生活に戻ると、今まで通りの習慣をしてしまう。これでは講師は役割を担えていない。この状況を少しでも変えて頂くために、実際に弊社クライアント先の訓練時に使用していますABA:応用行動分析学にもとづき実験検証されたやり方を公開することにしました。

人前で話をする主な形式と目的：

受講者の人数【多い】 講演会： 目的は “興味や関心を持ってもらう”こと

◆ 説明会： 目的は “資料を読み聞かせてあげる”こと

受講者の人数【少ない】 研修会： 目的は “できるようになってもらう”こと

年齢を問わず相手がどのような人であっても、できることが増えることで自発的になります。自発的になることで、自分からインプットを増やす経験をしていきます。経験をすることで肌感覚が養われ、実感のあるイメージを思い描けるようになる。現状との差から違和感を感じ、「なぜ?」「どうして?」と思考を深める問いが発生するようになる。この自発的な問いが興味や関心。人によって、自発的になるまでの期間にはばらつきがあります。ここで講師がつまづく。そして、自分なりに納得しないと動けない、理解に時間がかかる受講者に対して「わからないのは、できないのは、やらないのは、受講者が悪い」このような発想がどうしても湧いてしまう。これでは世の中が良くなっていかない。この状況を変えるためにも、ぜひ添付のテキストをご活用ください。

「受講者の学習をサポートし、受講者の自律性と創造性が高める」ポイントは以下です。

4. 研修講師の幻想を捨てる：

- 「教えてあげようとする」
- 「流暢にプレゼンテーションをする」
- 「できる限り多くを教えようとする」
- 「勉強になりました」「いい話を聴きました」
- 「理解してもらっているか不安に思う」

5. 「社内講師の5つの心得ステップ」を知る：

- ステップ1： 受講者が「講師の話聴きたくなる」ように、講師が「伝わるように伝える」
- ステップ2： 受講者が“できていない”に気づく”ように、講師が「問いかけ一緒に考える」
- ステップ3： 受講者が「仕事でやってみたくなる」ように、講師が「勘所を伝え動機づける」
- ステップ4： 受講者が「抱えている問題がみえる」ように、講師が「正しい状態例をみせる」
- ステップ5： 受講者が「問題の解決に取り組める」ように、講師が「はじめの一步をしめす」

【問】そもそも、講師の役割はなんですか？

受講者が今まで身に付けてきたやり方は否定しない。
そのやり方を活かしてもらったほうが無駄が無いです。
具体的にはそのやり方を使う“目的を変える”示唆をする

詳細は以下の URL からテキストをご確認ください。

個人情報の入力はありません。

https://requestgroup.jp/instructor_training

1人でも多く、受講者の自律性と創造性を高めていく講師が増えていくことを願っています。

スマートクリエイティブマネジメント総合研究所 理事長
ABA オペレーションズ研究センター センター長
リクエスト株式会社 代表取締役
甲畑 智康



芸術と応用行動分析学にもとづいた smart creative management[®]

クリエイティビティの再現



【会社概要】 社名： リクエスト株式会社 URL：<https://requestgroup.jp>
代表者：代表取締役 甲畑智康 URL：<https://requestgroup.jp/profile>

【事業内容】：需要創造型リーダーの開発[®]、自律型人材(メンバー)の育成、ロボットのマネジメント：

「リーダーが人とロボットと共働し需要を創る」をミッションに「需要創造型リーダー（まともなリーダー）と自律型人材（メンバー）に必要な思考と行動」「ロボットのマネジメント手法」の研究開発と実地訓練に取り組んでおり、約 820 社、従業員数 30,000 人の組織から年商 30 億円までの中堅企業、上場準備直前のスタートアップ企業への開発提供実績を有しています。また“需要創造の芸術と科学”をテーマに、人間と組織の行動に着目したビジネスの創造力、人間がマネジメントしやすいロボットのユーザーインターフェースの実験検証をするスマートクリエイティブマネジメント総合研究所と ABA オペレーションズ研究センターを構えている。スマートクリエイティブマネジメント[®]は弊社の登録商標です。

【過去の商品リリース】

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/68315

【本リリースに関するお問い合わせ先】

担当：未光

e-mail：request@requestgroup.jp

問合せフォーム：<https://requestgroup.jp/request>



芸術と応用行動分析学にもとづいた
smart creative management[®]
クリエイティビティの再現

【無償公開】

『人材育成のムダ取りTM』のやり方

～ 自律創造型の人材を効率的に育てる ～

imagine ultimate

弊社を知っていただくために、
実際にクライアント先で使用しています
テキストを無償公開しています。

以下の URL からご覧いただけます。

<https://requestgroup.jp/method>